

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例

第2回（平成24年6月14日）

1. 卒業した学生にメールアドレスを登録してもらうことで、卒業後、海外に帰国した留学生も含め、折々に「メルマガ」や「ニュースレター」などを送ることにより、本学との繋がりを継続するようにはいかがか。こういう普段からの繋がりにより愛校心が育つという効果もあるのではないかと考える。

上記の経営協議会学外委員からの意見等を踏まえ、平成25年3月卒業生・修了生より「Yahoo!メール Academic Edition」を利用した生涯メールサービスを開始し、平成25年度から大学のニュース等広報関連情報をはじめ、大学の最新の取り組みや大学が主催するイベント情報等の情報を提供しながら、卒業後の大学との繋がりを強化することとした。



第4回（平成24年9月6日）

2. 災害用備蓄品については、女子学生もいるので、女性を考慮した備蓄品の購入について配慮していただきたい。

上記の経営協議会学外委員からの意見等を踏まえ、女性を考慮した災害用備蓄品として各キャンパス毎にウェットタオルやボディータオル、生理用品等を購入した。



◆長期保管・除菌(防災ウェットタオル)(20枚入) 6195



◆長期保管からだふきボディータオル(12枚入) 6197



◆生理用ナプキン 9230

第5回（平成24年11月22日）

3. TOEICによる英語能力向上も大事であるが、国際的な場面で意見を戦わせることができるディベート力を身に着けることも大事である。

上記の経営協議会学外委員からの意見等を踏まえ、平成25年度より工学部において国際ナショナルコミュニケーション力を培うことを目的として、英語教育及びグローバルリーダー教養教育を含む教育プログラムを取り入れた学寮（明専寮）を利用開始した。また、外国人との交流などを通じて英語など語学のスキルアップにつなげる場として、「工学部ランゲッジ・ラウンジ（LL）」を開設した。



工学部明専寮



工学部ランゲッジ・ラウンジ